

2007年10月18日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 「ベビーカーキャンペーン」の展開について

当社は、ベビーカーご利用のお客さまに安全にご利用いただくために、新たに「全国ベビーカー&シルバー用品連合会」(会長 五十畑雅章)と共同で、ベビーカーキャンペーンを実施します。

キャンペーンの第1弾として、駅や車内でポスターを掲出します。

今後も、お客さまに安全・安心してご利用いただくために継続してキャンペーンを実施していきます。

### 1 キャンペーンのコセプト

(1) キャッチコピー 「みんなで赤ちゃんを守ろう」

(2) キャンペーンのコセプト

**当社、ベビーカー関連団体・事業者、お客さまの3者の協力で赤ちゃんの安全を向上させる。**

JR東日本

- ・お客さまのご理解を促進するために告知を実施
- ・検知しやすい扉の開発推進

ベビーカー関連団体・事業者

- ・お客さまのご理解を促進するために告知を実施
- ・ベビーカーメーカーは、JR東日本と協力して、これからも安全性の向上を目指して研究・開発を続ける

お客さま

- ・駆け込み乗車など無理な乗り降りはず、細心の注意を払ってご乗車いただく

### 2 具体的な展開について

(1) 実施期間 2007年10月25日(木)以降

(2) 具体的な内容

ポスターを駅、車内等を中心に掲出いたします。

山手線(E231系)や中央線(E233系)の車内のJRトレインチャンネルにおいて映像による告知を実施します。

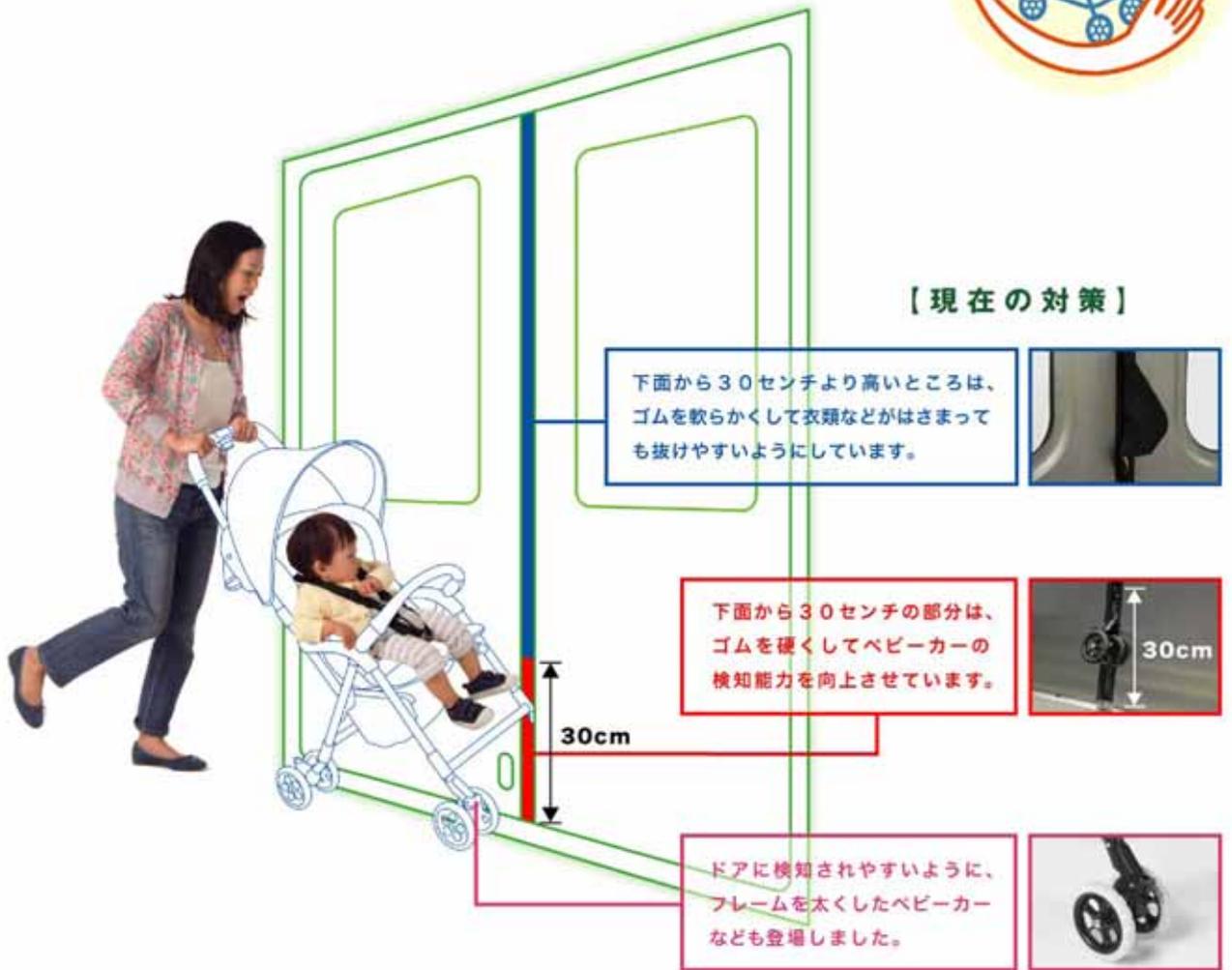
育児雑誌などでベビーカーユーザーへの告知を実施します。

### 3 その他

当社は、今後も関係団体及びベビーカーメーカー等と連携して、お客さまのご理解を促進するための告知等を行うとともに、引き続き、ベビーカーをご利用のお客さまに「安全」にご利用いただくための研究・開発を続けてまいります。

ポスターイメージ 別紙

大切な赤ちゃんを守るために、  
**JR東日本とベビーカーメーカーは**  
**もしものときの対策を協力して進めています。**  
**お父さんお母さんも乗り降りの際は**  
**ご注意ください。**



ホーム上のベビーカー事故を減らすために、JR東日本は約8500両の車両に、はさんだら検知しやすいドアを導入<sup>※1</sup>。

ベビーカーメーカーはドアに検知されやすいようにフレームを太くしたベビーカーなども開発しました<sup>※2</sup>。

これからもベビーカーメーカーとJR東日本は、安全性の向上を目指して研究・開発を続けます。

そして、お父さんお母さんも乗り降りの際は細心のご注意を。大切な赤ちゃんを守るには、みんなの協力が必要です。

まわりのお客さまもご配慮いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

※1: 5両以上で運転している普通電車が対象です。 ※2: 一部導入していないベビーカーもございます。